

【目次】

- 【1】第 56 回全国大会のご連絡
- 【2】支部メンバーコラム（武庫川女子大学：宗平順巳先生）
- 【3】各研究会（全国・支部）の活動
- 【4】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内
- 【5】その他お知らせ・ご連絡

♪==♪==♪==♪==♪==♪==♪

日本生産管理学会関西支部・メルマガ受信希望者各位

大阪学院大学の葛西です。

6月の声を聴いてから、なんとなく蒸し暑い日々になってきました。気づけば紫陽花は満開。暑さが苦手な花なので、曇り空の日の方が元気に見えます。あじさいはもともと日本が発祥。「ガクアジサイ」が観賞用に改良されたものが一般的に見られる丸い花の集合体のホンアジサイです。ちなみに、ホンアジサイの花びらのように見えるものはガクで、本当の花は中心にある小さな弁のように見えるものかどうか。真実の姿は表の形を見るだけでは掴めないということでしょうか。なんだか学問に似ている気がしました。

本日より第 56 回全国大会の参加・発表申込が始まります。ぜひ日頃の研究の成果を全国の会員と共有いただければと思います。奮ってご参加いただけますと幸いです。

発行：日本生産管理学会関西支部

連絡先：葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

【1】第 56 回全国大会のご連絡

第 56 回全国大会の全国大会は、愛知工業大学が主催校となり、2022 年 9 月 2 日(金)～9 月 4 日(日)の開催に開催されます。

■統一論題：脱炭素社会と産業改革 —持続可能な社会の実現に向けた SDGs—

地球温暖化の改善に向けた脱炭素化の動きが加速し、注目されている。我が国は 2050 年までにカーボンニュートラルの実現を目指し、2030 年度には CO₂ 排出量を 2013 年度比で 46%削減することが発表されたが、これらの実現には、産業構造のパラダイムシフトが必要であると考えます。

当学会は、生産や物流マネジメント、経営戦略やマーケティング、さらには IoT から 5G を含めた DX などについて、サプライチェーン全体で議論をしてきた。カーボンニュートラルの社会を目指した産業改革へ実装していくために、これまでの知見をどのように発展、深化させていけばよいのか議論が必要であると考えます。そこで、今大会は、我が国における脱炭素社会に向けた目標や取り組みを基に、自治体や企業、そして私たち一人ひとりがどのようなことに取り組めるのかを議論・検討する場とした。

■日時：2022 年 9 月 2 日(金)～9 月 4 日(日)

2022 年 9 月 2 日(金)：論文誌編集委員会(英文和文)・理事会(オンライン開催)

2022 年 9 月 3 日(土)：事業中間報告会

基調講演・特別講演

研究発表／研究会報告

2022 年 9 月 4 日(日)：研究発表／研究会報告

■開催場所・方法：愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス及びオンラインを併用実施(申込時選択)
(自由ヶ丘キャンパス住所) 〒464-0044 名古屋市千種区自由ヶ丘2 丁目 49-2

■ 申込スケジュール：

- 研究発表申込受付(Web) 2022年6月6日(月)～2022年7月25日(月) 締切
- 予稿論文原稿受付(Web) 2022年6月6日(月)～2022年8月1日(月) 締切
- 大会参加申込(Web) 2022年6月6日(月)～2022年8月15日(月) 締切
- 参加費等支払い 2022年6月6日(月)～2022年8月22日(月) 支払期限

みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

【2】支部メンバーコラム (武庫川女子大学:宗平順己先生)

毎回支部メンバーから、研究や近況、日頃の関心についてを、コラムとして紹介しております。

第4回目となります今回は、武庫川女子大学:宗平順己先生から寄せていただきました。

「Winning the Right Game ～DX 成功の要件～」

私の専門分野は Digital Transformation で 2017 年からこのテーマに取り組み、何度か生産管理学会でも口頭発表させてもらっています。

ようやく日本でもこの取り組みの重要性に気づき、いろいろなセミナーやソリューションが提案されていますが、共通して認識されていることは、日本がデジタル化への取り組みに対して、大きく出遅れているということです。

その理由として、経営者の意識の低さや、効率化にしか IT・デジタル活用を思いつづことができななど様々指摘されていますが、最近 Winning the Right Game*という本を読んでいて気づいたことがあります。

この本のポイントは、誤解を恐れずに簡潔にいうと、デジタル化時代に入って、競争に打ち勝つには優れたエコシステムを構築する必要があるということです

MIT Sloan が 2019 年に発行した DX の教科書 Designed for Digital では、顧客への新しい価値提案は一社のみで提供できるのではなく、External Developer Platform を構築して、パートナーとともに築く必要があるとされていますし、日本 DX 銘柄でグランプリとなった Komatsu の Smart Construction も一社のみでの取り組みではなく、エコシステムの取り組みになっています。

DX の取り組みは両利きの経営でなければならないということがようやく認識されつつあります。このうち既存事業の延命のための IT・デジタル活用はこれまでの取り組みの延長なので、容易に取り組んでいるのですが、困っているのが、デジタルを活用した新たなビジネスの創造です。

どうしてもこれまでの取り組みの延長でしか発想できず、良いビジネス案が出てこず、皆困っているのが現状です。その最も大きな理由として、自社単独あるいは自社が中心となってビジネスを考案しようとしていることにあるのではないかと気づいた次第です。

DX の目的は、新たな顧客経験を提供することであり、そのためには徹底した顧客起点での発想が求められます。しかし、自社起点の考えが根底にあると、真の顧客起点の発想ができません。

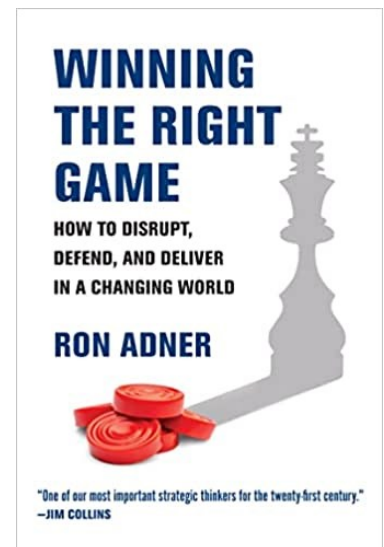
そうではなく、新たな顧客経験をデザインし、その実現のために必要なプレイヤーを考え、その中で自社のポジショニングを考えるようにする、すなわちエコシステムベースで考えると、新ビジネス案が出てこないという現状を打破できるのではないのでしょうか？

まだ考察の途中ですが、整理できましたら、学会で発表させて頂こうと思います。

武庫川女子大学経営学部教授

Kyoto ビジネスデザインラボ合同会社 代表社員

宗平 順己



※Winning the Right Game: How to Disrupt, Defend, and Deliver in a Changing World
(Management on the Cutting Edge), Ron Adner, The MIT Press, 2021.10.5

(文: 宗平順巳 (Toshimi Munehira/ <t-munehira@nifty.com>)

【3】生産管理学会関西支部各研究会(全国・支部)の活動

関心のある研究会がございましたら、直接各「連絡先」までご連絡ください。

<1>生産性向上研究会(旧食品産業研究会を発展的に継承)

- ・ 次回予定: 6/25(土) 14:00~17:00,
場所:オンラインのみ・またはオンラインと対面併用(スクラムソフトウェア様会議室)
- 次々回予定:7/16(土), 14:00~17:00
場所同上
- ・ 連絡先: 林 芳樹 (kyo884@khaki.plala.or.jp)

<2>SDGsのビジネス戦略研究会

- ・ 次回予定: 日程未定(7-8月ごろで設定)
場所:オンラインのみ・またはオンラインと対面併用(場所は対面希望者により決定)
- ・ 連絡先: 入江安孝 (yirie@iriesys.jp)

<3>新資本主義研究会 (SDGsのビジネス戦略研究会と同時開催)

- ・ 次回予定: 日程未定(7-8月ごろで設定)
場所:オンラインのみ・またはオンラインと対面併用(場所は対面希望者により決定)
- ・ 連絡先: 入江安孝 (yirie@iriesys.jp)

<4>関西生産管理資格制度研究会

- ・ 次回予定: 6/19(日) 10:00~11:30 オンライン会議 (Zoom)
- ・ 連絡先: 柏原秀明 (kashihara@mbox.kyoto-inet.or.jp)

<5>学校給食における生産性向上

- ・ 次回予定: 未定
- ・ 連絡先: 葛西恵里子 (ekasai@hi-ho.ne.jp)

【4】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内

<1>【日本経営システム学会】ニューノーマル研究部会

大阪大学の三森先生より、下記の研究会のご案内を頂きました。興味をお持ちの方は、奮ってご参加ください。

=====

【ニューノーマル研究部会 2022年度第3回会合(通算第9回) (AI-DX分科会)の開催について】

■日 時: 日時: 2022年6月18日(土) 14時~

■開催方法: Zoomを用いて開催

■講演タイトル: 「北海道・道の駅を中心としたデジタル化計画と大学の取り組み」

■講 師: 藤井 享先生(国立大学法人 北見工業大学教授)

■講演内容: 北海道は、長期間に渡って深刻なデフレ状況が続いていることから、札幌経済圏への極端な人口集中と地方の過疎化、労働生産性の低さ、地域間の経済格差、総人口の減少、財政基盤の弱体化等が懸念されている。これに加え、コロナ禍における第3次産業の停滞等、今後も持続的な経済成長が困難な状況に直面している。以上のことを鑑み、本学(北見工業大学)では、これらの状況を乗り越えるための貢献すべき施策として、北海道のイノベーションに資する研究と教育を展開している。その具体的な取組みが、IoT デジタル技術の利活用によ

るアフターコロナ・ニューノーマル（令和）時代の地域発ベンチャー企業の創生に向けた地域型プラットフォームの構築等であり、産学官連携により推進中である。本発表では、これらの取り組みの他、現在推進中の「北海道ホスピタリティ・イノベーション戦略」の概要とその推進状況について報告する。

■講師略歴：【現職】北見工業大学教授（社会連携推進センター長・知的財産センター長・工学部地域国際系長）、【学歴】中央大学大学院総合政策研究科総合政策専攻博士後期課程修了 博士（学術）、【職歴】1990年株式会社日立製作所入社、法人営業、営業企画、マーケティング、CS推進、営業教育関連業務に従事（2019年12月退社）。2013年群馬大学研究・産学連携戦略推進機構客員教授（2015年迄）。【社会活動】日本ホスピタリティ・マネジメント学会会長・北海道支部長、横幹連合理事・産学連携委員長、横幹技術協議会副会長、国際戦略経営研究会理事、日本情報経営学会理事、地域デザイン学会特命担当理事、【専門領域】戦略的協創イノベーション・技術経営・サービスイノベーション・産学連携

■参加方法：以下のURLから出席可否の登録をお願いしております。

<https://forms.gle/VGMPpmgcRZLHC9n99>

ご登録者には後ほどZOOM招待状をお送りします。

※ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

三森八重子・大阪大学招聘教授 dt4y-mtmm@asahi-net.or.jp

【5】その他お知らせ・ご連絡

・次回メルマガ情報提供のお願い

本メルマガは、関連の皆様の情報で作りに上げていきます。

以下の情報をお持ちでしたら、末尾「連絡先」までご一報ください。

なお、次回発行は2022年8/上～中旬を予定しています。

2022年7/末を目途に連絡をいただくと幸いです。

◎署名記事を募集します。ぜひ日頃皆さまがお考えのことをご披露いただき、議論の場にしていただければと思っております。上記

◎他学会・他支部、その他関連講演会、書籍出版等、の情報があればお知らせください。

・読者募集・拡散のお願い

本メルマガは、支部内外・学会内外に関わらず、拡散歓迎です。生産管理に興味をお持ちの方に広く知っていただけますと幸甚です。継続して受信希望のある方は、直接送付いたしますので、末尾「連絡先」までご一報ください。

また、Facebookのフォロー/いいね!もぜひお願いいたします。

Facebook 一般社団法人日本生産管理学会関西支部のページ

<https://www.facebook.com/jspmkansaihibu/>



本日の内容は以上です。

日々気温差があるこの頃、体調にお気をつけてお過ごしください。

発行：日本生産管理学会関西支部

連絡先：葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

*このメールは日本生産管理学会関西支部会員および学会内外の希望された方へ配信しています。

また、このメールのリストに登録の各位のアドレスは、生産管理学会のリストと同期できません。

アドレス変更をされる場合は、上記連絡先までご一報ください。